

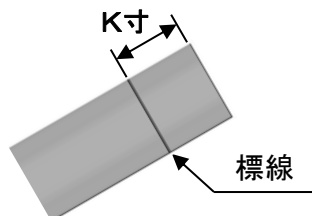
**注意**

- ・ ストップリング内面は素手で触ると危険ですので十分注意をして下さい。
- ・ 標線を記入せずに接合した場合、挿入不足または突き当て施工によるパッキンの締付トルク不足によって漏水につながる恐れがあります。

①パイプ挿入量記入

パイプ挿入量(K 寸)を測り、**標線を記入**して下さい。

〔パイプ切断のカエリは取り除いて下さい。〕
滑剤の塗布は不要です。



呼び径	K (mm)
250	260

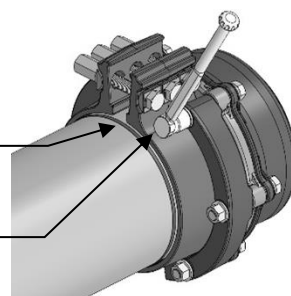
④押輪本締め

ストップリングは押輪と接した状態で**標線と合わせて**下さい。

押輪締付ナットを数回にわたり**均等に本締め**して下さい。

「押輪標準締付トルク表」参照

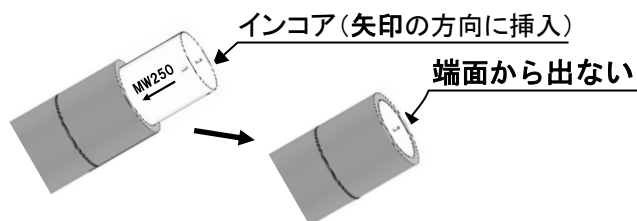
標線と重なる
押輪締付ナット
本締め



②インコア挿入

インコアを矢印の方向に**挿入**して下さい。

(パイプ端面よりインコアが出ないように、**樹脂製ハンマー**などで打ちこんで下さい。)



□押輪標準締付トルク表

呼び径	押輪 (N・m)	ボルト サイズ
250	120 ~ 140	M22

※太字：下限値

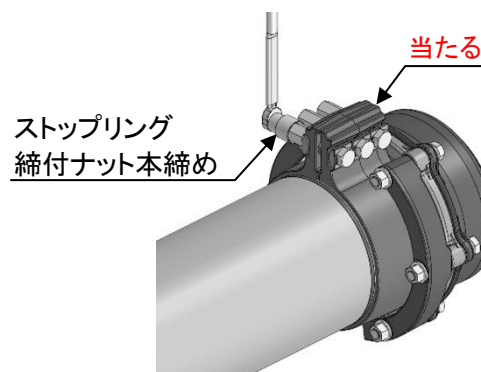
低温時、締付トルクが高くなります。

⑤ストップリング本締め

ストップリング先端が**当たる**までストップリング締付ナットを**本締め**して下さい。

「ストップリング標準締付トルク表」参照

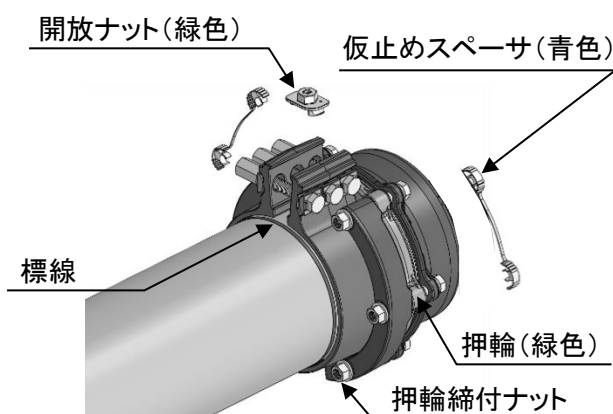
・ 3本あるのでひんばんに交互に締め付けて下さい。



③パイプ挿入

分解せずに継手を**標線**まで入れ、**仮止めスペーサ(2ヶ)**と**開放ナット(緑色)**を取り外します。

- ・ 仮止めスペーサが外れにくい場合は押輪締付ナットを少し緩めて下さい。
- ・ 開放ナットの外し方は、開放ナットを「S」の方向(左回り)に回して取り外して下さい。



□ストップリング標準締付トルク表

呼び径	ストップリング (参考: 締付トルク N・m)	ボルト サイズ
250	当て締め (200 ~ 220)	M24

低温時、締付トルクが高くなります。